

## 《市民憲章》

美しい海  
きれいな空気  
おだやかな四季

私たちは、このめぐまれた自然に感謝しながら、未来へ力強くはばたくための愛市憲章をここに定めます。

1. 美しい自然は、私たちみんなの誇りです。
1. 私たちは、元気で仲良く、きょうも働きます。
1. 私たちは、きまりを守り、安全で住みよいまちづくりにはげみます。
1. 私たちは、文化の花咲く、明るい平和なまちをきずきます。
1. 老いも若きも手を取りあって、輝かしい明日へむかって前進しましょう。

(昭和42年10月1日制定)

## 案内図



## 茅ヶ崎市環境事業センター ごみ焼却処理施設

〒253-0071 神奈川県茅ヶ崎市萩園836番地  
TEL 0467-58-4299

# 茅ヶ崎市 環境事業センター ごみ焼却処理施設



## 厚生年金・国民年金積立金還元融資施設

《施工監理》

一般財団法人日本環境衛生センター

〒210-0828 神奈川県川崎市川崎区四谷上町10-6  
TEL 044-288-4896

《設計・施工》

**Hitz** 日立造船株式会社  
Hitachi Zosen

本社 〒559-8559  
大阪府大阪市住之江区南港北1丁目7番89号  
TEL 06-6569-0001(代表)

東京本社 〒140-0013  
東京都品川区南大井6丁目26番3号 大森ヘルポード館15階  
TEL 03-6404-0800



# 海と緑の快適都市、茅ヶ崎にふさわしいクリーンな環境づくりを目指します。

平成30年3月、基幹改良とCO<sub>2</sub>削減対策を施し、施設の長寿命化と地球温暖化防止に対応した環境にやさしい施設に生まれ変わりました。

茅ヶ崎市環境事業センターごみ焼却処理施設は、燃やせるごみを焼却するごみ処理の主力工場になっていますが、竣工後20年が経過し設備・機器に経年的な劣化や老朽化が目立ちはじめたことから、施設の性能水準の回復と延命化を目的とした基幹的設備改良事業を平成27年度から3カ年計画で行いました。

基幹的設備改良事業においては、老朽化した設備の更新やCO<sub>2</sub>削減対策機器の導入など、施設の長寿命化と地球温暖化防止に配慮した施設整備を積極的に実施しました。

当センターは、今後も茅ヶ崎市にふさわしいクリーンな環境づくりを目指し、ごみ処理の中心を担う工場としての役割を果たしてまいります。



# 最新の処理設備を取り入れ、公害対策にも万全を期しています。



## ■設備概要

形式 全連続燃焼式ストーカ炉  
処理能力 360t/日(120t/日×3炉)

### ●受入供給設備

- ごみ計量機(ロードセル式)……………1基
- 投入扉 観音開き式……………6基
- 内ダンピングボックス……………1基
- ごみピット(4,320m<sup>3</sup>)……………1基
- ごみクレーン(天井走行式)……………2基

### ●燃焼設備

- 燃焼装置(デロール式揺動階段火格子120t/日)……………3基

### ●燃焼ガス冷却設備

- 自然循環式廃熱ボイラ  
(最大蒸発量19.3t/時、最高使用圧力2.26MPa)……………3基

### ●排ガス処理設備

- (乾式消石灰吹込+バグフィルタ+触媒脱硝)……………3基

### ●排水処理設備

- 凝集沈殿+砂ろ過、生物処理+沈殿ろ過……………1式

### ●余熱利用設備

- 蒸気タービン発電設備(3,000kW)……………1基
- 場内外余熱利用設備……………1式

### ●通風設備

- 押込送風機……………3基
- 炉温調節用送風機……………3基
- 誘引送風機……………3基

### ●灰出し設備

- 火格子下コンベア……………3基
- 灰押し装置……………3基
- 灰ピット……………1基
- 灰固化ピット……………1基
- 灰クレーン(天井走行式)……………1基
- ダスト固化装置……………1式

### ●電気設備

- 受変電・配電設備……………1式
- 非常用ディーゼル発電機(400kW)……………1基

### ●計装設備

- 分散形計算機制御システム(自動燃焼)……………1式
- 自動化設備(ごみクレーン、ごみ計量機、車両管制)……………1式

## ■建設概要

施設名称 茅ヶ崎市環境事業センター  
ごみ焼却処理施設

所在地 茅ヶ崎市萩園836番地  
敷地面積 18,978m<sup>2</sup>

### ●竣工

着工 平成3年11月28日

竣工 平成7年9月30日

総事業費 16,881,700千円

### ●基幹改良工事

着工 平成27年9月29日

竣工 平成30年3月15日

総事業費 4,760,640千円

## ■建築概要

工場棟 管理棟一体

RC、SRC、S造

地下1階、地上6階

建築面積/3,974m<sup>2</sup>

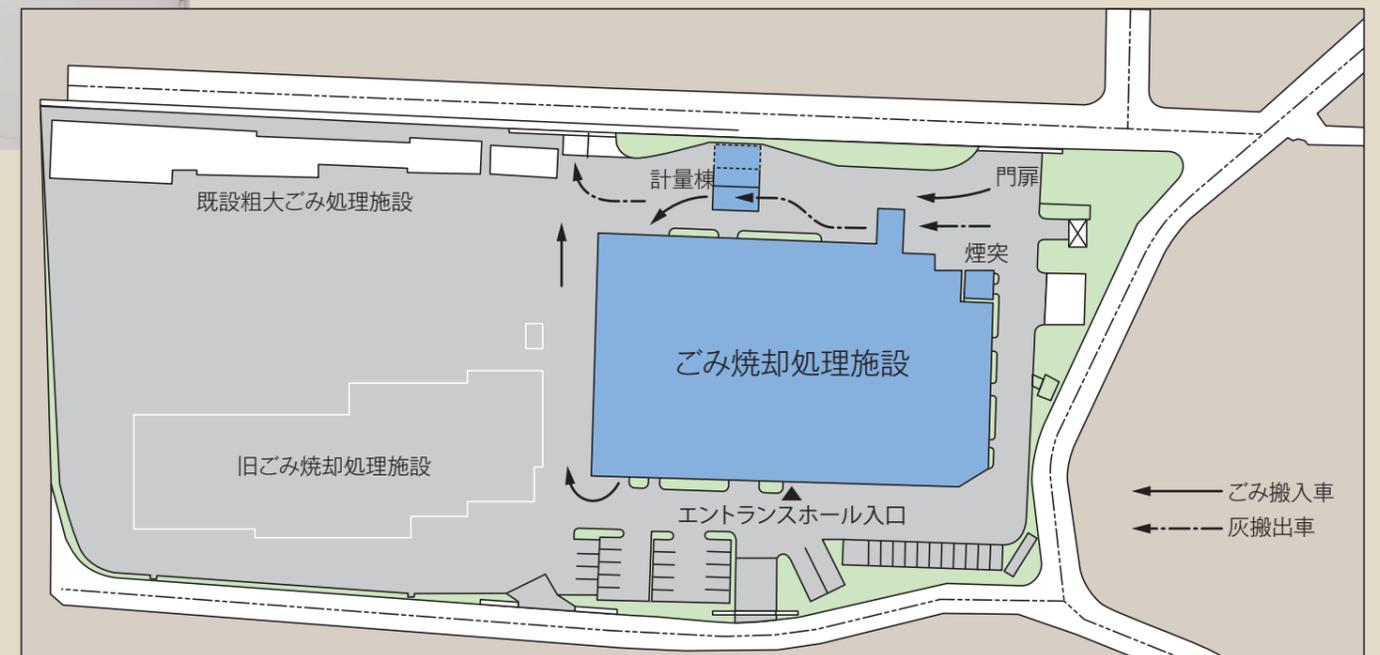
延床面積/10,651m<sup>2</sup>

煙突 外筒 RC造意匠煙突

内筒 鋼板製3筒集合煙突

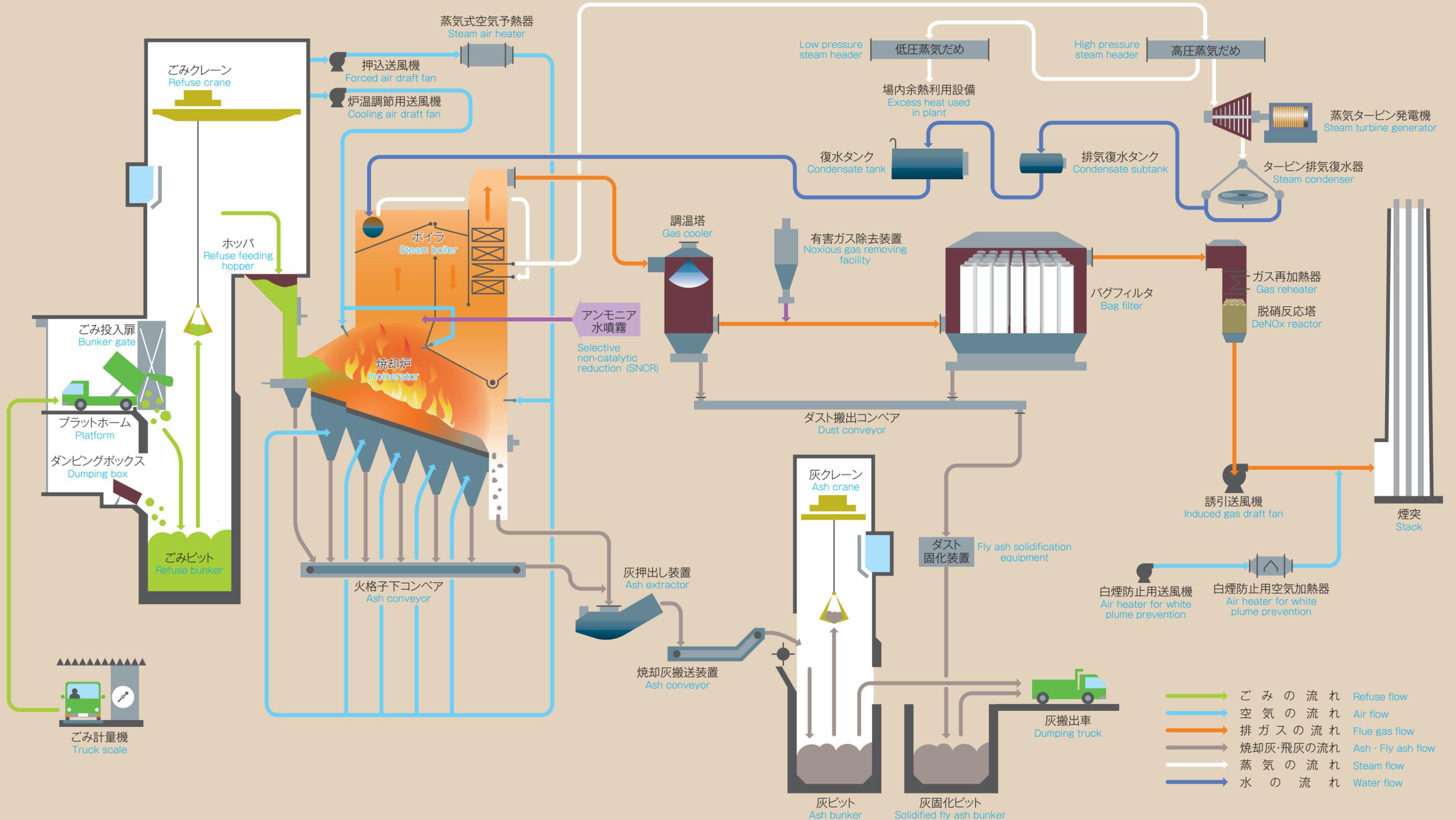
高さ 59m

附属棟 計量棟、危険物庫ほか



# クリーンな環境を維持するための最新の設備

ごみ焼却処理施設の流れ Refuse Incineration Plant Flow Diagram



# 安全、高効率なごみ処理によりクリーンな環境をつくります。

## ごみ受入設備 Refuse receiving facility

### 計量

各家庭から出るごみは、決められたごみ集積所に出され、ごみ収集車が施設へ運びます。施設ではごみ計量機で重量を量ることで適切な焼却計画が進められます。



▲ごみ計量機 Truck scale

### 投入

搬入されたごみは、ここで車からごみピットに投入されます。作業の安全と効率化を図るためコンピュータによる車両管制をします。



▲プラットホーム Platform



▲ごみピットとごみクレーン Refuse bunker and Refuse crane

ごみピットに投入されたごみは、ごみクレーンにより攪拌されたあと、焼却炉へ運ばれます。焼却用の空気をここから吸い込んでごみの臭気を分解しているため、施設から臭いが漏れることはありません。

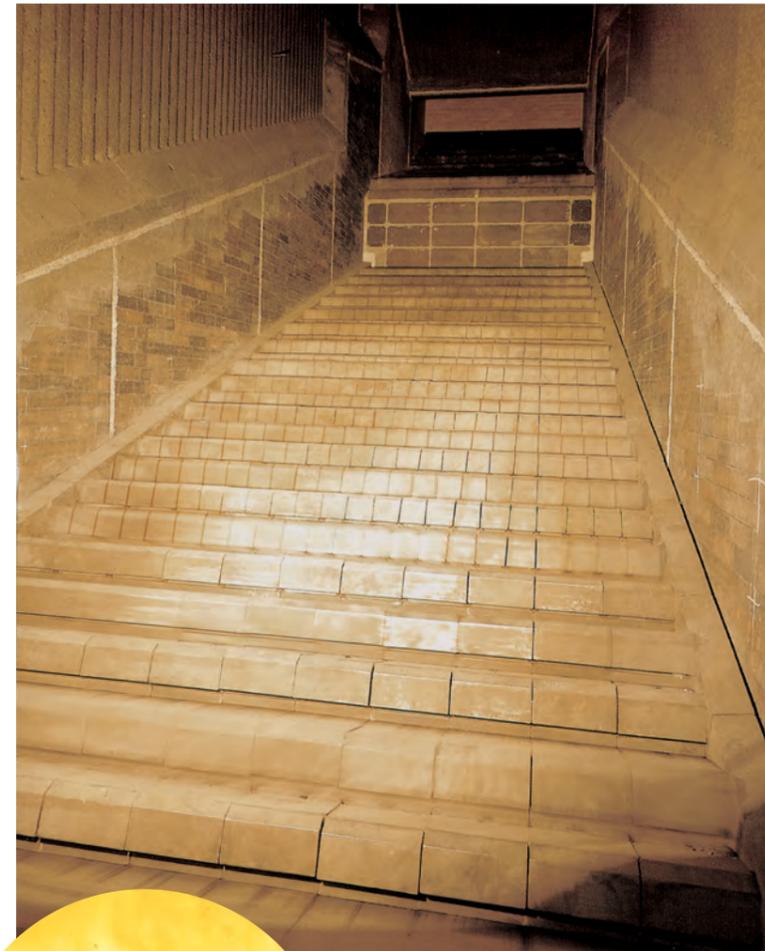


▲プラットホーム Platform

## ごみ焼却設備 Combustion facility

### 焼却

ごみは焼却炉の階段状の火格子を下りながら完全燃焼します。高温にさらされるため、内壁は厚い耐火レンガで覆われています。



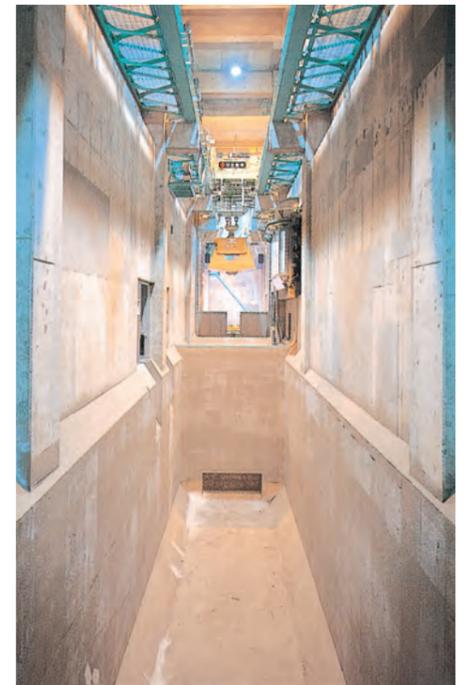
▲焼却炉内 Inside incinerator



▲焼却中 Combustion



▲ごみホツバ Refuse feeding hopper



▲灰ピットと灰クレーン Ash bunker and Ash crane

ごみの焼却によって発生した灰は、消火されたあと灰ピットに運ばれ、灰クレーンにより車載されて埋立地等へ運ばれます。



▲焼却炉 Incinerator

# より安全に、より効率的に、省資源に配慮

再資源・省資源・効率化のための設備 Equipment for recycling, resource saving and efficiency

## 再資源

ごみの燃焼により発生する熱はボイラで吸収し燃焼ガスの温度を下げるのと同時に蒸気を発生させます。蒸気は発電に利用され、さらに施設内の給湯や冷暖房などに利用するなど、熱エネルギーの再資源化をしています。



▲余熱利用設備 Waste heat utilization facility



▲廃熱ボイラ Steam boiler

廃熱ボイラで発生した蒸気は、蒸気タービン発電機に送り発電を行います。発電電力は、施設内で利用され余剰分は電力会社に売却されています。さらに蒸気は、余熱利用設備で施設内の給湯や空調の熱源として利用されます。



▲蒸気タービン発電機 Steam turbine generator

## 省資源

誘引送風機の大型モータ等はインバータ化し、照明をLED化するなど、省資源化設備への転換を図っています。



▲LED照明 Light emitting diode (LED) lighting



▲誘引送風機 Induced gas draft fan

## 安全

排ガスに含まれる有害物質をバグフィルタ等の公害防止設備で除去するとともに、捕集した飛灰もダスト固化装置で安定化処理し、環境保全に努めています。



▲バグフィルタ Bag filter



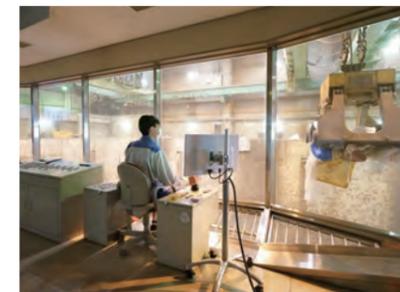
▲ダスト固化装置 Fly ash solidification equipment



▲有害ガス除去装置 Noxious gas removing facility



▲電気室 Electrical equipment room



▲ごみクレーン操作室 Refuse crane control room

## 効率化

施設内の機器の監視や操作は中央制御室のコンピュータシステムによって効率的に制御されます。また、ごみクレーンもコンピュータによる自動運転ができます。



▲中央制御室 Central control room